

豊島区外傷サーベイランス委員会会議録

会議体の名称	第27回（令和6年度）外傷サーベイランス委員会
事務局（担当課）	政策経営部 セーフコミュニティ推進室
開催日時	2024年 12月13日（金）9時00分～10時00分
開催場所	本庁舎5階 政経会議室1（オンライン：Zoom）
議事	1 不慮の事故等による死亡・けがの状況 2 高齢者の入浴事故の状況 3 その他 （1）熱中症による救急搬送について （2）水タバコ（シーシャ）が関連した急性一酸化炭素中毒が疑われる救急要請について
出席者	1 豊島区セーフコミュニティ推進協議会専門委員 市川 政雄 2 池袋警察署 生活安全課長 松比良 大輔 3 豊島消防署 警防課長代理： 警防課課長補佐兼救急技術担当係長 小室 俊基（欠席） 4 池袋保健所長 寺西 新 5 政策経営部長 山野邊 暢（欠席） 6 高齢者福祉課長 今井 有里 7 セーフコミュニティ推進室長 五十嵐 友 【事務局】
配布資料	資料1 不慮の事故等による死亡・けがの状況（年間活動レポートから抜粋） 資料2 水タバコ（シーシャ）が関連した急性一酸化炭素中毒が疑われる救急要請について 参考資料1 令和6年度豊島区外傷サーベイランス委員会委員名簿

○議題1 不慮の事故等による死亡・けがの状況

1 報告事項

資料1を基に説明

2 委員意見

- ・トレンドはほぼ変わっていない。
- ・自転車事故が多いことを踏まえ、ヘルメット着用状況や頭部外傷の詳細なデータ収集が必要。
- ・0～2歳児の転落はベッドやソファからであり、防ぐべき事故である。一方で、子どもから目を離すな、ベッドやソファをなくせという理想論は現実と乖離している。
- ・高齢者は母数が多く、加齢による筋力低下が多くなるため難しい面がある。
⇒コロナ禍の活動自粛があり、足の筋力低下などがなかなか戻っていないデータがある。
- ・自殺は警察のマンパワーが不足しているが、通報があれば駆けつける。
自治体においてはゲートキーパー研修などを実施し全庁的に対応できるようにしている事例があるが、行政のみでの対応は困難である。
窓を開けられなくする、外階段に柵を設置するといった物理的な対応も必要だが、社会全体での対応は困難である。
- ・自殺者の男女比はほぼ同一だが、自殺未遂は圧倒的に女性が多い。現状、精神保健に関しては都が一元的に実施しているが、保健所のフォローアップも必要と考えている。

3 今後の課題

- ・自転車事故のデータについてクロス集計による分析を検討する。
- ・乳児の転落事故については、子どものけが・事故予防対策委員会で具体例を出して、対策の検討をお願いする。
- ・高齢者は体操などの筋力アップを介護予防活動に加えた講座を取り入れているので、地道に継続する。
- ・自殺については、アプローチの方法を自殺・うつ病の予防対策委員会と議論する。
- ・各対策委員会がエビデンスに基づいた活動をしているが、問題が複合化している現状を鑑み、対策委員会同士の横の連携を推進する。

○議題2 高齢者の入浴事故の状況

1 報告事項

資料2を基に説明

2 委員意見

- ・浴室を暖めているのに脱衣所を暖めないのはなぜか。
例えば手ごろな温風機がないことが理由であれば、温風機の購入に補助金を出すことができないか。
- ・入浴事故は軽んじられていて、危機感を持っていないように感じる。
- ・脱衣所も暖めるとなると環境に優しくないのではないか。
- ・冬場に一人だと何かあると怖いので、銭湯を利用している方が一定数存在する。
- ・海外はシャワーだけということも多いのではないか。そのため圧が少なくショック状態になるリスクも低いのではないか。湯につかるのであれば、施設も週に2、3回であることから、冬場あまり汚れていないのであれば週1回でも十分ではないか。

3 今後の課題

- ・高齢者の入浴事故の状況について周知を進める。

○議題3 その他（１）熱中症による救急搬送について

1 報告事項

- ・ここ数年、特に記録的な猛暑となっている。
- ・区としては、安全安心メールなどをとおして、区民にアラートを送っている。
- ・熱中症救急搬送の傾向を分析し、対策を講じることが有用でないか考えている。

2 委員意見

- ・熱中症の啓発は実施しているが、生活様式としてエアコンを「今後も使用しない。」「使い過ぎるのはよくない。」と考えている方が一定数存在する。
- ・費用的な問題、認知機能の低下の問題もあり、エアコンの使用しない要因は一つではない。
- ・老人は夏でも厚着していることがある。搬送されたときの服装の情報があるとよい。
- ・ナッジ理論を活用した啓発方法を検討できないか。

3 今後の課題

- ・適切にエアコンを使用していただくことを周知する。
- ・搬送時の服装について情報提供が可能か消防に確認する。

○議題3 その他（２）水タバコ（シーシャ）が関連した急性一酸化炭素中毒が疑われる救急要請について

1 報告事項

- ・市川委員長からご提案をいただいたテーマである。
- ・水タバコ（シーシャ）が関連した急性一酸化炭素中毒が疑われる救急要請について、東京消防庁の方が論文をまとめている。
- ・豊島区には繁華街として池袋があるため、状況を確認する。

2 委員意見

- ・シーシャは禁止されているものではない。
- ・搬送されている事例が多いのであれば、研究テーマにしてもよい。
- ・これまで注目していない視点のため、現状の把握が必要。

3 今後の課題

- ・消防の搬送データから分析が可能か確認する。